

# 市政Q&A 都市下水路建設事業の市債残高は

**Q**

本紙4月号に掲載された「都市計画税の経過と現況、今後の見通し」の記事について質問します。

- 生活排水路整備事業に国からの助成金交付があったかどうか。
- 市の単独事業かどうか。
- 事業のため起債したとのことですが、平成4年度末現在で、市債の未償額を正確に。
- ほ場整備関連の農道舗装完了のことで、起工年度、完工年度、地元負担金と歳入金総額を。(五六の町・庭山敏郎・70歳)

**A**

●都市下水路建設事業  
旧白根町用途地域を受益区域とする都市下水路建設事業は国の補助事業です。鵜沼ポンプ場と東西幹線排水路の建設総事業費は25億5,207万円。そのうち国の補助対象事業費は22億5,853万円、補助対象外の単独事業費は2億9,354万円でした。本紙4月号掲載の総事業費は、補助対象事業費の内訳は国庫補助金8億8,470万円、一般財源からの支出2億9,363万円、地方債10億8,020万円です。地方債のうち、5億8,495万円は国の政策的理由で特別に発行が許可されたもので、償還時に国から地方交付税として交付されます。残りの4億9,525万円が純然たる市債で、現在これに利息を含めた額の返済に都市計画税を充てています。この市債の元利合計は9億3,079万円、平成4年度までの償還額は6億0,574万円、未償還額は3億2,506万円です。都市計画税条例の制定には、当時の議会でさまざまな議論が行われ、その使途はこの事業に伴う一般財源分と市債の償還のみに限定されました。したがって幹線排水路に接続する支線の改修などの費用には、都市計画税は充てていません。また既にお知らせしており、事業が完了してもそれに伴う借入金返済のため、現在も都市計画税をいただいているのです。同条例は制定から既に20年が経過し、土地利用状況など社会経済情勢は大きく変化しています。市は今年度「都市計画基本計画」を作成し、市の都市計画の方向を定め、その中で都市計画税の在り方についても、見直しを含めて言及されるものと思われま

# ●ほ場整備関連事業

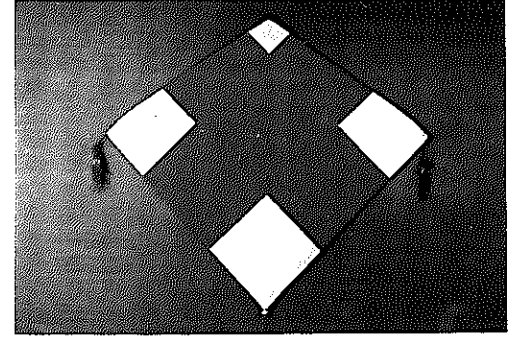
白根郷地区の県営ほ場整備事業は昭和49年に着手、平成4年度に完了しました。事業費は約270億円で、3,680分の区画整理、507分の用水路工事、346分の排水路工事、468分の道路工事などが行われ、市の道路計画に基づく道路整備は、昭和51年に着手、平成4年度に完了しています。整備された468分のうち、市が管理する道路は52路線70分で、27億9,368万円を要しました。この事業の負担割合は国45%、県27.5%、地元27.5%です。改良に伴う拡張用地は、農家が土地を提供しました。造成工事費の地元負担分27.5%のうち市が45%、土地改良区が55%を負担。舗装工事費は市が全額負担しました。ただその費用は土地改良区が農林漁業金融公庫から道路整備資金として融資を受けたもので、市は毎年負担相当額を土地改良区に支払っています。償還総額は12億0,714万円で、平成4年度までに2億7,469万円を支払いました。この支払いには一般財源を充てています。これは道路建設が極めて公共性の高いものであり、受益者が特定地域に限られるものではないからです。その意味から都市下水路建設事業とは性格を異にするものと考えられます。ご理解をお願いします。

# あなたも 風博士

このコーナーでは、来年夏の完成を目指して建設中の「しろね大風と歴史の館」に展示される国内外の風の数々を紹介しています。このコーナーを読めばあなたも風博士。今回は長崎の「ハタ」です。

シンプルなデザイン風の風です。白い紙や赤い紙、紺色の紙を剪って、はり合わせたものです。南蛮渡来の絵といわれ、昔も昔、オランダ貿易船の信号旗を風絵にしたともいわれています。

この風の原型はインドを中心とする東南アジアに分布していて、特にインディアン・ファイターと呼ばれるくらい、性能は抜群の風です。インドの人はこれを自由自在に操縦して糸切り合戦をします。



糸を切り取られて負けた風は遠くへ飛んでいきます。糸を切られて飛ばされてきたハタをからめ捕る、専門の竹ざおもあるといわれます。

風合戦には白根や見附のように綱引きによる方式と、糸をこすり切って争うものと、二つの方法があります。後者は特にインドや韓国で、日本では愛知県の田原や、静岡県でも盛んに行われています。

風合戦はアジア特有の風の文化です。東南アジアや日本、韓国で好まれ、発達した遊びです。風合戦は風の遊びの文化の究極のものといえるでしょう。

長崎のハタの歴史は古く、日本の風合戦の発祥の地といえるかもしれません。  
(文 風取集委員会 田村和雄)

# 広げ健康家族 ②⑥ 健康な赤ちゃんを生むために 保健センター (☎373・4300)

女性にとって人生で最も大切な出産。妊娠中は、母体の健康が何より大切です。和やかな家庭環境がお母さんを安心させ、おなかの赤ちゃんを育てます。

●大切な胎児のころ  
人間は、胎児と呼ばれる妊娠八週目ころから出生までの約八カ月間に、体重が約百六十倍にもなります。生きていく上で必要な体の器官も胎内で作られます。人間にとり、胎内にいる約二百六十日間が、いかに重要であるかが分かります。

●胎内での育児  
妊娠期間中は、お母さんと赤ちゃんが二人で一つの体を共有しているようなものです。お母さんは、一生懸命育っている赤ちゃんのために、休息、睡眠、栄養を十分取りましょう。いらいらしたり、ストレスがたまったりすると、自律神経やホルモンの分泌の状態が変化します。すると胎盤への血液の循環が悪くなり、赤ちゃんの発育が遅れることとなります。心身共に健康な毎日を送るべく、ご自身に健康な胎児を育てる



と協力し、お母さんにとって何よりも心強いものです。和やかに育む環境が、お母さんとおなかの赤ちゃんを安心させます。いたわりや励ましの言葉を掛けてあげましょう。育児は赤ちゃんが胎内にいるころから始まっています。家族みんなで協力して、豊かな心と丈夫な体を持った赤ちゃんを育てていきましょう。

# 広報クイズ ⑤③

## 問題

- 平成8年完成を目指す戸頭浄水場拡張工事。完成時にそこで飼育される生物は?  
A カブトムシ B ホタル  
C トンボ (ヒント=1ページ)
- 白根消防本部からレスキュー隊が東北大会へ出場。出場部門は?  
A ローブリッジ B ベイブリッジ  
C セブンブリッジ (ヒント=7ページ)
- 人間は、胎児の間に体重が約何倍になるでしょう。  
A 2倍 B 40倍 C 160倍  
(ヒント=9ページ)

## 応募の方法

はがきに答えの記号、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 8月19日(木)必着 □抽選 8月20日(金)に市役所に来られた人に抽選していただきます □発表 9月1日号

## 当選おめでとう

- 〔図書券〕▶知野裕太(新飯田)▶藤島かおり(上下諏訪木)▶早藤恵子(白井)▶羽貝助市(中鷺ノ木)▶増子権一(大通)
- 〔自然科学館招待券〕▶篠原成美(大通南)▶猪腰彦五(朝捲)▶風間秀房(能登)

## 応募のはがきから

○7月号の表紙がいつもと変わってびっくりしました(かなこ)・○雑誌感覚で楽しく読めるが、端から端まで読まないと大事なことを見落としてしまう。もっと見やすい工夫をしてほしい(まきこ)



抽選は7月20日に、市役所に来られた山田泰介さん(新飯田)にお願いしました。先月号の正解は●A●A●B。応募総数は35通で、すべて全問正解でした。

# 市立図書館 今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※第2・4月曜、祝日は休館  
月・水・木・土・日曜日  
.....午前9時~午後5時  
火・金曜日.....午前9時~午後8時  
▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

# 今月の一冊

2 (角野栄子) ほか多数

「海を渡った自衛隊」  
朝日新聞国際貢献取材班 国論を揺るがし続けるカンボジアPKO問題。全力を挙げてその流れを追ってきた朝日新聞のスタッフが、PKO協力法成立から、日本人の盛り上がり、風化していくまでを、数多くの写真と共に描くドキュメント。

